

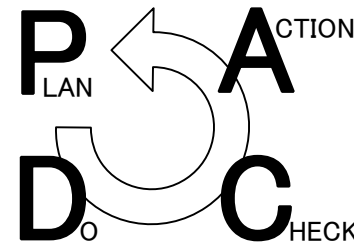
政策名	3夢のふくらむ港	施策推進 責任者	企画調整室長 港営部長
基本施策名	04うるおいと魅力のある港湾空間の形成		
個別施策名	12快適な港湾空間を形成する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	来港者、就業者					
	サービスの対象物(何を)	緑地、水辺空間、就業空間及び港湾景観					
	意図(どういう状態にしたいのか)	快適に感じられる場となる					
内容	これまで名古屋港では人々に親しまれる施設を各種整備してきましたが、さらに水辺を訪れる人々に安らぎや潤いを感じることができる緑地や遊歩道、都心部と港をつなぐ海上ネットワークの充実、景観資源を活かした魅力ある視点場の確保などによって、港らしさが感じられるより快適な空間を提供していきます。						
目標	臨港緑地利用者の満足度の向上を図ります。				目標達成に影響する外的要因等		
成果指標名	単位	実績			目標	指標の説明(式)	
		H19年度	H20年度	H21年度	H24年度		
ガーデンふ頭臨港緑園・金城ふ頭中央緑地・潮見ふ頭緑地の満足度(エコ、けしき、こころ、レクリエーション、つかいやすさ)	実績目標	%	74 (H17結果)			75	H17に各緑地利用者、地域住民等に対しアンケートを実施(3緑地計242人)
	達成率	%	98.7				
港湾福利厚生施設利用者(福祉センター、岸壁休憩所)	実績目標	万人	125	117	99	140	
	達成率	%	89.3	83.6	70.7		

4. ACTION(取組)

取組の方向性				
成果	拡大		○	
	維持			
	縮小			
		縮小	維持	拡大
コスト				
判断の理由				
更に県民・市民に親しまれるために緑地の整備等の施策の充実を行うことにより成果の拡大を図る必要があるため。しかし、財源が逼迫しており、施策の選択とコスト削減に取組むことが必要です。				



3. CHECK(個別施策の実現に向けた今後の展開方向)

現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> 中川運河再開発計画の策定については、名古屋市と共同して検討していますが、港湾計画への反映については、世界同時不況から港湾計画の基本となる貨物量等の計画指標を定めるのに時間を要することから、港湾計画策定の手続きに入れていません。 中川運河や金城ふ頭における新規緑地整備は、実施設計段階まで進んでいますが、世界同時不況の影響から地方財政が悪化しており、今後の整備の遅れが懸念されます。 景観アドバイザーへの民間事業者からの自主的な相談が少なく十分な活用がされていません。 	
構成事務事業の適正性 (事務事業の構成内容の妥当性)	
<ul style="list-style-type: none"> 福利厚生施設の管理については、事業の目的に鑑み、他施策の構成事務事業とします。 	
今後の展開方向 (新規事業の創出、事務事業の見直し等)	
<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢の変化や新たな県民・市民のニーズに応じて、名古屋市とともに中川運河再開発基本計画の見直しに取組み、その結果を港湾計画の改訂に反映します。 2箇所の新規緑地整備は、事業スケジュール及び事業費について関係者と十分調整を図るとともに、高い満足度が得られるよう取り組んでいきます。 カラー計画や景観資源の保全等の景観向上策は必要性や効果的な方法等について検討を深め、実施段階では過大な投資とならないように努めます。 港湾福利厚生施設の管理については、(財)名古屋港湾福利厚生協会と連携を図り、必要に応じて施設の運営の改善や改修等に取り組んでいきます。 	

2. DO(個別施策を構成する事務事業の今後の方向性)

重点化	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な成果指標 又は活動指標 (単位)	成果・事業費(千円・人件費込)				目標値 (目標年度)	21年度 末までの 状況	今後の方向性		判断の理由
				H19年度	H20年度	H21年度	H22年度			事務事業 の 方向性	取組の方向性 成果 コスト	
				実績		目標						
◎	中川運河再開発計画の策定(港湾計画の策定)(3041201)	都心に近接したロケーションや周辺の開発動向を鑑み、利用形態の見直しを図り、水域の利活用に係る幅広い考え方や、必要となる施設などについて関係機関等と検討・調整を行います。	策定進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)	20 20	6 26	4 30	40 70	100 (H23)	遅れ	継続	➡ ➡	物流の環境変化に対応した施策を推進する必要があるため。
○	中川運河緑地(堀止地区)整備事業【本掲】(3041202)	地域環境の向上を図るため、ささしまライブ24と連携を図りながら中川運河(堀止地区)の緑地を整備します。規模:1.1ha【再掲】4051703	事業進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)		0.8 0.8	1.3 2.1	5.1 7.2	100 (H25)	順調	継続	➡ ➡	都心に位置する当緑地は多くの利用が見込め、ささしまライブ24の計画に合わせた事業進捗を図っていく必要があるため。
	金城ふ頭中央緑地(みなと振興交付金事業地区)整備の事業化(3041203)	国土交通省と予算に関する調整を行います。	事業採択(回)	-	1			1 (H20)	完了			
	金城ふ頭中央緑地(みなと振興交付金事業地区)整備事業【本掲】(3041210)	地域環境の向上を図るため、金城ふ頭中央緑地の整備を行います。規模:1.1ha【再掲】4051710	事業進捗率(%)(上段:単年度、下段:累計)			8.3 8.3	50 58.3	100 (H23)	順調	継続	➡ ➡	交流拠点を目指す金城地区の緑地整備は欠かせない一方、財政状況を見極めながらの対応が必要であるため。
	港湾福利厚生施設の管理(3041204)	港湾福利厚生施設となる港湾労働者福祉センター、岸壁休憩所は本組合が所有していますが、運営は(財)名古屋港湾福利厚生協会に委託しています。運営方法、施設の修繕、必要棟数等については、同協会及び関係者と調整し、快適な港湾労働環境の形成を図ります。	港湾福利厚生施設の利用者数(万人)	125 30,195	117 32,338	99 3,575	140 5,233	140 継続事業	やや遅れ	継続	➡ ➡	港湾労働者の良好な労働環境の確保は港湾管理者の責務であるため。
	名古屋港景観基本計画の見直し(3041205)	名古屋港景観基本計画を策定してから、約10年が経過したため、検討委員会を組織し、同計画の点検・検証を行います。	名古屋港景観基本計画第2版の策定(%)	-	100			100 (H20)	完了			
	名古屋港景観基本計画の推進(3041211)	関係行政機関や事業者と連携して、景観アドバイザー制度の活用などにより、各種建築計画等と名古屋港景観基本計画及び名古屋港カラー計画との整合性を図り、魅力ある港湾景観の形成を推進します。	景観基本計画との整合性(%)	-	-	100	100	100 継続事業	順調	継続	➡ ➡	カラー計画に基づく審査案件の実現に努力しつつ、効果的方法によりコスト削減を図るため。
	名古屋港跳上橋の保存・活用方法の検討(3041212)	名古屋港景観基本計画において歴史資源として位置づけられている、名古屋港跳上橋の保存・活用について検討するものです。	保存・活用方法作成工程の進捗率(%) (上段:単年度、下段:累計)			33 33	67 100	100 (H22)	やや遅れ	延伸	➡ ➡	港らしさの創出に向けて、貴重な景観資源と位置づけられている跳上橋の保存・活用方法の検討を進めることが必要のため。
施策コスト(事業費合計)				54,975	62,749	42,639	110,448					

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。

注)目標値欄の「継続事業」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則としてH24年度の中間目標として設定しています。